

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	北海道支部	(2) 記載者氏名:	鈴木 和夫	会員番号:	13172	事務局整理記入欄	北海道 - 114
分水嶺区分:	狩振岳手前コル～H106狩振岳～採草地端	(3) 山行日:	2005年	2月	20日	(4) 天候:	地吹雪後小雪

(5) 参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

L 鈴木 和夫	13172						
助田 陽一	12995						
助田 梨枝子	12996						
計				3名			
計				名			

(6) 山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	(日勝峠シェルター～三支庁界～双珠別岳～)狩振岳手前コル～H106狩振岳～上トマム市街												
アプローチ:	札幌市～狩勝峠～日勝峠～尾根取り付き(日勝峠三国の沢シェルター日高側口)												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点													
分水嶺到達点	狩振岳手前コル泊	上トマム	142	43	0.3	43	1	9.7	1,125		10:55	B-4	(9)・(10)
H106	狩振岳	上トマム	142	42	32.8	43	1	30.6	1,317	12:10	12:45	B-4	(9)・(10)
	送電線鉄塔	上トマム	142	41	33.7	43	1	54.1	822	14:50	15:05	B-4	(8)
分水嶺離別点	採草地端		142	40	41.7	43	2	20.7	657	16:10	16:15	B-4	(10)
歩行終了点	上トマム市街									18:00			
総歩行時間(休憩時間を除く):											6時間10分		
分水嶺距離											4.0Km		

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
H106	狩振岳			良	積雪のため頭部しか確認できず

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

分水嶺上に北海道電力(株)の送電線鉄塔(赤いプレートに白抜きで「1」と表示)あり

(9) 水および植生に関連した特記事項

コル付近は太いタケカハの天然疎林、分水嶺上はハイマツおよび低灌木のみ
狩振岳西斜面は、標高1150m以下で針葉樹広葉樹の疎林、標高900m以下では天然二次林か?

(10) その他の特記事項

前日に狩振岳手前でテント周りにブロックを積んだが、夕方から猛烈な吹雪となり、夜半から朝6時までの間に4回の除雪を行い、風が収まらないので、出発を見合わせる。10時に少し風が弱くなったので出発準備に入ったが、またもテントが雪に埋っており撤収に時間がかかった。狩振岳山頂までは、風速15m位の地吹雪で山頂では20mを越える風であった。
狩振岳西斜面の森林限界下は前夜からの降雪が60cm以上ありここからは膝上のラッセルに苦しめられ、下山予定地点にあと1.4km位のところで最終人家に向けエスケープし除雪した道路を下山した。

(11) 写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明:
狩振岳山頂の三角点石標上のGPS表示

表面(1ページ目)に書ききれなかった事項を記入してください。



狩振岳山頂の三角点石標上のGPS表示